

大宮退職校長会 会員だより

第60号 発行責任者 藍川達雄

活動の復活を目指して



大宮退職校長会

会長 藍川達雄

コロナ禍が収まる中で、本年度は新装なった市民会館おみやで総会を実施することができました。

令和5年度は、新会員8名を迎え会員総数226名(5月20日現在)でスタートとなりました。なお、本年度は改選期でしたので、役員の変更がありました。再任いただきました私を含め、昨年に引き続きスタッフ一同力を合わせて本会を運営してまいります。どうぞよろしく願います。

昨年年度の巻頭言では、人生100年時代と言われる中で、知力・体力は落ちているが、時間は十分あるので何かを始めるよい機会であると書きま

した。今回は、「健康で生き生きと生活するには」という趣旨で書きます。

新聞によると日常生活を問題なく送れる期間を「健康寿命」と呼び、男性72・68歳、女性75・38歳。平均寿命は、男性81・41歳、女性87・45歳であり、この差を短くすることが課題であると書かれてありました。この記事を読んで、退職時ある先輩からこんなことを言われたことを思い出しました。

「休みでも朝起きたら着替えること」、この言葉の持つ意味が最近分かってきました。朝起き、「今日は外出しないからこのままでいいや」なんて思う日があります。そんな日に限って来客があったり、急

用がきたりするものです。また、着替えていれば、すぐ外出できたり、人と会ったりすることが出来ます。着替えることは、その日の行動の第一歩であります。この一歩を踏み出すことができれば、今日1日は大成功です。さらに髭を剃り、髪を整え、女性ならお化粧をする等、その日の行動に相応しい服装を考え、趣味やボランティアなどに専念すれば、健康で生き生きとした生活ができると思います。

本年度、本会としては、従来から行われていた活動の復活を目指し事業を行っていきます。会員の皆様には、パジャマを脱ぎ捨て、史跡巡り・懇親旅行・美術展・サークル活動にご参加いただけると嬉しいです。サークルは会員のお声があれば新たに作ることもできます。

なお、会の運営についてご意見をお寄せいただければ幸いです。

会員の皆様にはお体に気を付けられ、それぞれの目標に向かって活動されることを願っています。

この提言を受け本市では、スポーツツルの「地域運動部活動推進事業」において、令和3年度には野球部へ5校、令和4年度には13校の12部活動に指導者を派遣し、実証いたしました。また、経済産業省の「未来の教室」実証事業において、「新しい時代にふさわしい部活動の在り方に関する調査」や、プロスポーツ指導者派遣による実証やアプリ等でデータを共有・活用するこ

【特集】さいたま市教育委員会の取組

「地域における新しいスポーツ・文化環境の創造」

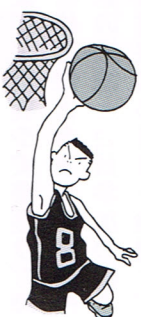
部活動の地域移行

さいたま市教育委員会指導1課

令和4年6月6日にスポーツ庁から「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」が発表され、この提言には、持続可能な部活動という論点に加えて、少子化の対応や教員の働き方改革を目指した部活動改革だけでなく、子どもたちがスポーツや文化活動を生涯にわたって楽しむために、地域に新しいスポーツ・文化環境を創造する必要があるという考え方が打ち出されました。

令和5年度は、3校のモデル校において、「統括団体」が派遣する指導者により、休日の部活動の指導を行い、指導者の募集・登録・派遣・謝金の支払い等の役割を担う「統括団体」の具体的な運営の在り方について検証してまいります。この取組に加え、本市における子どもたちのスポーツ文化環境の創造に向けた協議会を立ち上げ、部活動の地域移行を見据え、新しい地域スポーツの在り方について検討し、本市ならではの部活動の在り方の確立に向け、歩みを進めてまいります。

とで、個別最適化や効率的な活動の実現を目指した「スマート部活動」にチャレンジし、部活動の地域移行に係る実践研究を積極的に進めてまいります。



令和5年度
大宮退職校長会
定期総会報告

日時 5月20日(土)
午後2時～
会場 市民会館おみや
レイボックホール
集会室8
来賓 さいたま市教育委員
会学校教育部長
・野津吉宏様
大宮退職校長会顧問
・江原政雄様
・加々美健一様

佐藤薫副会長の司会により、金子泰久副会長の開会宣言ののち、国歌斉唱、そして昨年度ご逝去された3名の会員を悼み黙とうを捧げ、総会が始まりました。

藍川達雄会長挨拶

コロナ禍も落ち着き、総会が開催できますこと、皆様とともに喜びたいと思います。さて、今回は2年に一度の役員改選期であります。また、年度内に市内会員の会費の納



入方法の検討、旧4市の交流を進める方法の検討も進めていく所存です。

新会員8名を迎え、総会員226名で出発します。本年度も大宮退職校長会が益々発展していくよう、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

富田英雄新入会員代表挨拶

これまで大変お世話になった諸先輩方のお仲間に入れていただき、うれしく思っております。私は昭和60年第二東中学校の開校と共に教員となり、最後の3年間はコロナ禍の中で大宮北中学校校長とし

て定年を迎えました。また、最後の1年はさいたま市中学校長会の会長として、退職校長会の皆様には色々のご協力いただき、この場をお借りして御礼申し上げます。今後は、会員として大宮退職校長会のために頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。



野津吉宏学校教育部長挨拶

本日、令和5年度さいたま市大宮退職校長会定期総会が開催されますことに心からお祝い申し上げます。

本市では、さいたま市スマートスクールプロジェクトの推進、不登校等児童生徒支援センター（Grow Up）の充実、また地域における新しいスポ

ーツ文化環境の創造、いわゆる部活動の地域移行等の施策を通して、子どもたち一人一人の幸せを実現する未来の教育に向け取り組んでいるところであります。その中で令和4年度も、さいたま市子どもたちは学習、文化活動、運動で全国的にも多くの成果を挙げております。これも退職された校長先生方の長年のご尽力があつてのことであり、それを受けて、各学校が教育活動の研鑽に真摯に努めた結果であると考えています。



その後、藍川達雄会長を議長として議事に入り、すべての議案は満場一致で承認されました。詳細は総会要項をご参照ください。

本会が美術展や史跡巡り、理事研修会など今までの事業や活動の継続と会員参加の観点から従来のあり方を検討し、工夫・精選をしてきたことに敬意を表しますとのこといただきました。また、加々美健一顧問からは、コロナ禍で直接お伝えできなかった2年間の本会会長としてご協力いただいたことへの御礼と、県退職校長会定期総会実行委員長としての本会への協力依頼の言葉をいただきました。



その後、江原政雄顧問から、コロナ禍の3年間にあつても、

新シリーズ
私のときめき
ライフ③

車と音楽

星野博幸

私はとにかく車と音楽が好きだ。

まずは車だが、とにかく車が好きで特に運転中は非常に楽しく、仕事に行くにも苦にならない。毎日がプチドライブであり、好きな音楽を聴きながら運転を楽しんでいる。そんな日々を送っていると、ゴルフデンウイーク明けに我が愛車のディーラーから、モータースポーツのメッカである富士スピードウェイで走りませんか？ とのメールが届いた。その瞬間、こんなチャンスは滅多にないと思い即答した。その内容は、時速100kmまでのA、200kmまでのB、フリーのCクラスが設定されており、私は迷わずBを選んだ。Bクラスはヘルメット、グローブの着用が義務付けられていた。いよいよ当日を迎えるが、あいにくの雨

にも関わらず、車にゼッケンを貼り、ヘルメットをかぶり、グローブをはめていよいよコースに向かう。

コース脇で待つ間、その時感じた今までの人生で経験した事のない「ワクワク感」は今後忘れる事はないであろう。各クラスの内容はコースを3周×2回であり、プロドライバの先導車がスピードを決める。さあ、いよいよスタートであるが、雨のため直線の最高速は150kmに抑えられた。しかし、私は「雨だからこれが限界か」など考えながら直線の走りを楽しんでいた。

昼食を終え2回目のスタートを迎えたが、直線スピードは160kmまで出せた。2回目の事もあり多少の余裕もありスピード感を楽しんだ。

さて、次は音楽だが、若い頃はバンドを組んでギター、ドラム、キーボードをこなし、また、約10年程前からジャズヴォーカルのレッスンを受けていた。しかし、2年程前から時間の都合がつかず現在は休部中である。

そのレッスンは年間7〜8曲を練習するが、その中から好きな曲を2曲選び年1回ライブハウスで歌う。

バックにはピアノ、ベース、ドラムが生で演奏するが、自分の出番を待つ間は多少の不安があるものの、富士スピードウェイのワクワク感と同様である。そして歌い終わると毎年の事ながら満足した事は一度もなく、暗譜のもどかしさと共にステージを下りるのが恒例である。けれど、このヴォーカルレッスンでやはりポイントレは必要で日々声を出す事の大切さを学んだ。



「雨天のためコクピットでの撮影」

囲碁同好会は、浅香敬会長の下、9名の囲碁大好き人間が定期的に囲碁大会を開催し腕前を競っています。

野澤 高

囲碁は盤上の格闘技と呼ばれると思います。技量には大きな個人差があるので、棋力を点数で表し、点差に応じたハンディを付けて対戦します。このハンディ制度のお陰で、強者も弱者も勝ったり負けたり一喜一憂、奥深い囲碁の世界を等しく堪能、共有しながら親睦を深めています。

コロナ以前は偶数月の第1木曜日に1日かけて大会を開催し、全員が公平に4試合を戦った成績で表彰を行っていましたが、しかし、コロナ禍中の令和3年度は会場が使用できず休会。4年4月から再開できましたが、会場は半日しか借りられません。その為、毎月第2火曜日の午後、半日大会として開催しています。(途中、4年11月〜5年3月

同好会紹介
〜 囲碁同好会〜
コロナ禍を乗り越えて！



はコロナ禍で再度休会) 囲碁の対局は時間がかかります。限られた半日の中で少しでも多く対戦ができるよう、空いた者同士がすぐ対戦できるよう改めました。対局数は不揃いになりますが、囲碁の楽しみを優先し、表彰は半期に1度勝率を基に行います。会場は長い間大宮区天沼町の「シニア憩いの家」をお借りしてきましたが、改修工事の為、7月からは同区東町の「老人福祉センターあずま荘」をお借りして活動を続けています。

囲碁経験者や囲碁に興味のある方、是非ご入会ください。

専門部の活動

今年度の第1回各専門部会が6月中旬に開催され、次のようなことが話し合われた。

広報部

今年度は「会員だより」60号・61号を発行する。そこで、掲載する「懇親旅行」「史跡めぐり」「美術展」等の行事を誰が担当するのか分担を決めた。次に昨年度から掲載を始めた「私のときめきライフ」と2年ぶりとなる「同好会紹介」について意見交換をし、原稿依頼の分担も決めた。さらに「さいたま市教育委員会の取組」については、『部活動の地域移行』についてまとめてもらうことにした。

〈部長〉入江知彦 ○小川 啓

松田泰成・宮川和夫・名倉稔夫・星美千也・福島博子
富田英雄 (○印は部長)

〈幹事〉中山正一・眞嶋廣久

新井栄司

※担当副会長・佐藤 薫

福利厚生部

昨年は2年ぶりに「史跡めぐり(普門院)」を実施できたが、懇親旅行はコロナ感染の

危惧もあり、中止となった。

今年度は、懇親旅行を、念願だった「桜田門外の変」(井伊家跡・現在の国会議事堂・桜田門を中心)の現地を訪ねる歴史ウォーキングと懇親会(10月20日)で計画している。「史跡めぐり」は商家の町並みが残る本町通・円乗院を中心とした与野の歴史散歩(11月16日)の予定で計画している。

〈部長〉河原塚順司・河田捷一
須田義博・柿岡文彦・渡部隆男・外園倫生・大澤 淳

ようこそ！ 新入会員の紹介

この3月にめでたく退職なされた皆様、おめでとうございませう。次の9名の方が大宮退職校長会に入会されました。皆様のフレッシュな感覚とお力を、本会の発展のために貸しいただきますようお願いいたします。

- 三村 悟 渡邊祐子
- 濱崎泰行 春山 悟
- 鈴木康弘 清水 肇
- 富田英雄 田口彰久
- 内河水穂子(7月6日入会)

(敬称略)

〈幹事〉秋山 隆 ○金子有哲
関根俊幸 (○印は部長)
※担当副会長・金子泰久

研修部

今年度は「チャレンジスクール推進の成果と課題」というテーマで10月28日に大宮北小学校の土曜チャレンジスクールを視察し、活動後に学校地域連携コーディネーター等から話を伺うことにした。

この研修については例年通り、12月の理事会において報告することを予定している。

〈部長〉○中村秀男・坂井俊夫

桑原 昇・関 修・菊地 豊
柴崎邦夫・横山正春・石田耕一 (○印は部長)

〈幹事〉関根 廣・菊池悦夫

駒宮寿夫

※担当副会長・渡邊正道

令和5年度の役員

退任

副会長 栗田憲昭

理事 皆川広嗣・門倉和男

幹事 菊地三郎

顧問 黒田春海・竹本昭剛

会長 江原政雄・加々美健一

副会長 藍川達雄

金子泰久・佐藤 薫
渡邊正道(新)

訃報
慎んでご冥福をお祈り申し上げます。

照林和男氏(92歳)

令和5年5月18日逝去

川島 博氏(91歳)

令和5年7月26日逝去

島村邦雄氏(84歳)

令和5年7月29日逝去

監事 武井崔良・河原塚順司・中山 亮

理事(新)金子みゆき・高後 仁

柿岡文彦

幹事(新)橋本 栄・新井栄司

幹事の事務分担

総務 溝口正己・矢内 洋

原田守康・橋本 栄

会計 須田 博・渡邊朋久

島村 暁

広報誌の発行 中山正一・眞嶋廣久・新井栄司

各種配付物 中山正一

懇親旅行・史跡めぐり

金子有哲・秋山 隆

関根俊幸

専門部会

〈広報部〉中山正一・眞嶋廣久

新井栄司・佐藤 薫副会長

〈福利厚生部〉秋山 隆・金子有哲・関根俊幸・金子泰久

副会長

〈研修部〉関根 廣・菊池悦夫
駒宮寿夫・渡邊正道副会長
美術展の開催

柴崎邦夫・溝口正己

新入会員募集

溝口正己・矢内 洋・原田

守康・橋本 栄・関根 廣

編集後記



猛暑日の日数が記録的となった7月。道で出会う人たちの挨拶は、「今日も朝から暑いですね」でした。出会う人は心なしか朝から疲れ気味、「熱中症にならないよう気をつけようね」と心の中でつぶやく毎日でした。雨の降る気配は感じられません。地域によっては大変な被害のところもありました。不謹慎かもしれませんが、「少し雨降ってほしいな」と思う日々でした。自分勝手だなと感じる日々でもありました。

さて、編集にあたり、皆様の原稿を一足先に楽しく拝読できました。それは原稿を寄せてくださった先生方の、経験からにじみ出る人間性そのものに触れたからだと思います。次号も楽しみます。
〔編集委員〕佐藤 薫(副会長)
中山正一・眞嶋廣久・新井栄司